

けいせん

議会だより

第34号

新型コロナウイルス感染症と闘う医療従事者等に対し敬意と感謝の意を表する決議

(前文略)

全国的に特に医療従事者が、いわれなき偏見や差別を受けているとの不本意な報道がある中、本県においても感染リスクにさらされながら緊張が続く現場での医療従事者の方々の自らの危険をかえりみぬ献身的な努力が続けられている。

よって、桂川町議会は、医療従事者をはじめ新型コロナウイルス対策に携わ^{たす}っている全ての人々に対し、最大限の敬意と感謝の意を表するとともに、その活動を全面的に力強く支える議会活動を展開していく。

文教厚生委員会 「ひまわりの里」光庭視察

総合福祉センター「ひまわりの里」には中庭があります。光がいっぱい入るので光庭（こうてい）と言います。

「ひまわりの里」の光庭



新しくなった光庭を視察しました。庭木、大型パラソル、砂場、人工芝、…小さな子どもたちが声をあげて遊ぶシーンが目に見えます。今は、暑いので遊ぶのは無理かな。涼しくなるといいですね。

文教厚生委員長 柴田 正彦

一般質問 (6月定例会)



林 英明議員

泉河内川の護岸工事について

問 川原田橋下流の護岸石積の基礎がむき出しで、大雨になると危険である。昨年から指摘しているが、いつ補修するのか。

答 (原中建設事業課長) 県土整備事務所への回答は「優先順位の高い所から補修しているので、現在は経過観察中」とのこと。
今後とも県に要望していく。

水道事業経営戦略について

問 飯塚市の副市長と企業局の管理者から桂川町との水道事業の共同運営について、話し合いをしたい旨の提案を私に頂いた。話し合いをして採算が合えば同じ方向へ進むことになればと考えるが、

答 (町長) 広域行政の必要性

の観点から意見交換を含めて協議したい。

ふくおか県央環境広域施設組合での新清掃工場建設について

問 飯塚市・嘉麻市・桂川町・小竹町で運営しているこの施設組合にとって最大の課題は、ごみ焼却施設を一つにまとめて、9年後の令和12年から稼働予定の新清掃工場を建設することだ。

ダイオキシンの排出基準は現在の施設において1m³当たり5ナノグラム(ナノは10億分の1)だが、新設する場合は1ナノグラムで1/50と大幅に下げなければ新設できない。

また、ばいじん濃度の基準値1m³当たり0.15グラムは今後も変わりはないが、現在飯塚クリーンセンターは0.005グラム未満で、桂苑にいたっては0.001グラム未満とそれぞれ基準値の1/30と1/150だ。

その他、硫酸酸化物・窒素酸化物・塩化水素・全水銀等も、飯塚クリーンセンター・桂苑ともに大幅に低い数値になっている。

新設の場合、ダイオキシン・ばいじん等はさらに下がり、いわゆるクリーンセンターになると思われる。

11月上旬の最終選定で、もし桂川町が選ばれた場合、私は受けざるを得ないと思うが、町長の見解は。

答 (町長) 施設組合の構成団体としての役割は果たして行かなければならないと認識している。新しい建設場所については対応・協議しながら熟慮する必要がある。



吉川紀代子議員

避難所における「ジェンダー視点」に立った取り組みについて

問 防災会議でジェンダー視点に立った取り組みの話し合いはしたのか。

答 (横山総務課長) 間仕切りによるプライバシーの確保を図ったことを報告し、共通認識とした。

問 防災会議の構成員は。

答 (総務課長) 23名の構成で女性の委員は3名。

問 女性の意見はどのように反映させているのか。

答 (総務課長) 防災会議での意見や住民・役場職員からの意見を集約し反映させている。

問 防災備品に生理用品を入れるべきでは。

答 (総務課長) 検討したい。

障がい認定外高齢者への補聴器購入支援制度について

問 直近の高齢者数は何%か。

答 (川野健康福祉課長) 5月31日現在、高齢者数は4619人で高齢化率は34.9%。

問 補聴器購入助成をすべきではないか。

答 (町長) 引き続き検討する。

コロナ禍における国民健康保険税の免除について

問 国民健康保険税滞納者にも適応できるのか。

答 (秦税務課長) 対象となる。

問 現在までの申請者数は。

答 (税務課長) 23名の申請があり、該当者は20名。

問 制度の周知は。

答（税務課長） 広報・ホームページ・窓口でのチラシ掲示。

国民健康保険法第44条について

問 免除の要件は。

答（永松保険環境課長） 自然災害等による重大な損害を受けたり、世帯主の実収入や預貯金が一定額以下にあること。

問 事例の件数は。

答（保険環境課長） 平成27年に1件。入院に係る自己負担額100%免除。

問 減免の期間と延長は。

答（保険環境課長） 最長3カ月を設定しており、延長はなし。

問 周知方法は。

答（保険環境課長） 平成27年4月号の広報紙に掲載以降は実施していない。効果的な周知方法を検討したい。

生理の貧困について

問 「生理の貧困」をどのように捉えているのか。

答（健康福祉課長） 生活困窮という面から社会問題になって

いると理解しており、250の自治体を取り組んでいる事も承知している。

問 本町ではどのような助成をしているのか。

答（健康福祉課長） 助成はしていない。

問 生理の貧困対策を講ずるべきではないか。

答（健康福祉課長） 国の制度を活用し対策を考えていく。

字数制限のため「広報紙配布について」「福岡県の食糧支援について」は未掲載



大塚和佳議員

駅の施設や管理等について

問 道路・調整池等を含めた駅周辺整備の総額と起債の償還年数及び金額は。

答（原中建設事業課長） 総額は約23億円、そのうち駅舎及び自由通路は約12億円。

答（小平企画財政課長） 20年間の償還、毎年約4,200万円。

問 改築前には、博多方面へ行く利用者のためエアコンを設置した休憩室があったが、新しい駅舎ではそれが無くなっている。いつから計画し、議員に説明をしたのか。

答（建設事業課長） JRが所有する施設であり、桂川町で設置をお願いした経緯は無く、設置しないと判断した時期は分からない。また、議員への説明はしていない。

答（町長） 無くなったことは知らなかった。JRと協議したい。

問 3月議会でも質問したが、観光案内所や王塚古墳の案内等の計画はどうなっているのか。特に、改札口から出たときに王塚古墳への案内表示がない。

答（企画財政課長） 検討中。

問 駅利用者の意見を聞くため、意見箱等の設置としては。

答（町長） 検討する。

湯の浦総合キャンプ場について

問 桂川町八ザードマップでは

どのようになっているのか。

答（原田社会教育課長） 土砂災害特別警戒区域等に指定。

問 土砂災害特別警戒区域（建築物の損壊や住民の生命に多大な影響を及ぼすおそれがある区域）にある「セントラルロッジの解体」を計画しているが、同じ敷地内の「バンガロー」も解体すべきでは。

答（町長） 今後、検討していく。

災害対応と地域防災について

問 議員になってから毎年質問してきた。昨年度は実施したか。

- ① 役場内職員の庁舎での避難訓練
- ② AED(自動体外式除細動器)の訓練
- ③ 災害に対しての図上訓練

答（横山総務課長） 実施していない。

問 社会福祉協議会とボランティアセンターの協定締結は。

答（町長） 実施する。

森林環境譲与税の活用及び今後の事業等と森林の保全について

問 来年度以降の計画は。

答 (町長) 森林所有者から町へ無償譲渡したいと申し出があった場合は、自治体が受けなければならぬ。

字数制限のため「新型コロナウイルス対策と広報」「空き家・空き地対策」は未掲載。



柴田正彦議員

桂川幼稚園のあり方について

問 3月議会で、「幼稚園の児童は少なくなっているのに、先生の数は減っていない。一方、保育所は保育士が足りずに待機児童が出ている。この状況が一年以上続いている。幼稚園の先生を保育所に異動してほしい」という質問に、井上町長は「課題があることは認識しています。人事は適切に行います」と言われた。

先生は一人退職されたことで一人減っただけ(8名が7名)。児童数はさらに減っている(42名

が33名)。

保育所では待機児童ができてきているというのに、これが適切な人事だと考えているのか。

答 (町長) 人事については数だけではなく、いろいろな要素が含まれる。異動時点においては最善を尽くした。

問 飯塚市・嘉麻市の市立幼稚園の数は。

答 (大庭教育長) 飯塚市では、市立幼稚園は3園あったが、市立認定子ども園に移行し、現在は無い。嘉麻市は合併以前より無い。

問 これまで、幼稚園の廃園や子ども園への移行については話し合っただけなのか。

答 (町長) 幼稚園運営審議会を開き、保育料無料化の影響による幼稚園児減などについては検討した。

しかし、廃園や子ども園への移行は、町としての考えを明確に示さなければならぬ。早い時期に、方向性を打ち出すべきと考えている。

問 幼稚園を残すのか、残すならばどんな形なのか話し合っただけなのか、今出てきている。

教育委員会や学校教育課では幼稚園教育をどのようにして、どう存続させるかは検討しても、廃園や子ども園への移行、職員の異動は検討できない。それができるのは、俯瞰的・総合的に見ることができると町長・副町長・議員そして町民。

教育長が今後開く「桂川町今後の幼児教育の在り方検討委員会」でも、教育内容や児童数を増やすことは検討できても、子ども園への移行などの検討は無理だと思われる。

幼稚園を残すことにしかならないのではと危惧している。

答 (町長) そのようなことにはならないと思っている。

字数制限のため、他は未掲載



杉村明彦議員

空き家バンクについて

問 3月議会で、空き家・空き地のデータバンク化を進めると言っていたが、どんなシステムなのか。

答 (小平企画財政課長) 平成30年に実施した「桂川町空き家実態調査」で、住宅としての空き家が276棟あることが判明した。

この空き家・空き地の利活用による移住・定住の促進、また、空き家発生の予防に資するよう、所有者の希望または同意のもと、多数の物件を町のホームページ上に構築していくシステム。

問 その進捗状況は。

答 (企画財政課長) 現在、先進自治体の事例研究を行い、ホームページサイトの作り込みを行っている。

次のステップでは、実際の不動産取引等に関して、宅建業協会などへの聞き取り・協議等を行う。本町に適した有効なものになるように鋭意努力する。

定住促進について

問 直近5年間の桂川町における人口の自然減・社会減は。

答（北原住民課長） 5年間の人口動態は、出生者数は452人、死亡者数は860人で、出生・死亡による自然減は、408人。

転入等による増は2,379人、転出等による減は2,653人で、社会減は274人。

なお、この5年間の減少数は計682人。

問 桂川町の人口減少率は近隣の市町村と比べるとかなり低く、やり方次第では、人口増加の可能性も十分あると思う。

嘉麻市（新築移住の場合、最高300万円支給）とまではいかなくとも桂川町でも実施してはどうか。

答（町長） 本年度から、新規事業として「桂川町移住定住奨励金交付事業」を実施し、新築・中古住宅を取得した世帯に対して、固定資産税相当額の商品券と、ふるさと応援寄付金の返礼品に活用している町の特産品を贈呈する。

移住定住促進については、町の特徴を生かした効果的な優遇措置を積極的に取り組んでいく。



下川 康弘 議員

町営二反田団地B棟建設について

問 A棟建設に地元業者が何社携わったか。

答（原中建設事業課長） 地元業者としては6社携わっている。

問 B棟の入札方法（条件）等は決まっているのか。

答（山邊副町長） 本町の入札方法は指名競争入札。今回の工事は規模も大きく高難度工事のため、業者選考においては、技術力や施工実績等により、安定的施工が見込める業者による入札が必要と考えている。

一方では、地元業者育成の観点から、地元業者が本工事に携われるように、可能な限り条件を付けていきたい。

ゆのうら体験の杜を含めた、湯の浦キャンプ場・弥山岳について

問 ゆのうら体験の杜及びキャンプサイトの評判は。

答（小平企画財政課長） ゆのうら体験の杜の利用者アンケートでは「施設がきれいでよい」「自由度が多く使いやすい」などの声があり、リピーター客が多い状況。

キャンプサイトについては「トイレなどの設備がきれい」「プライベート感があってよい」「利用時間も長くてよい」などの声が多く、予約可能な3カ月先までの週末は予約で埋まっており、平日の利用も増えている状況。

問 セントラルロッジ解体後の活用方法は。

答（原田社会教育課長） 具体的な計画はない。

問 今後の構想は。

答（町長） ゆのうら体験の杜・キャンプ場・弥山岳を含めた地域の活用は、町にとって大きな課題であるし、大きな可能性を秘めていると思っている。具体的な取り組みについて積極的に検討を進めていく。

つぶやき

「コロナ禍」いつの間にか普通に使っている単語ですが、いつから使われだしたのか調べてみました。初めて使われたのが昨年2月後半、しかもスポーツ新聞の見出しからだそうです。

なぜスポーツ紙からなのかと言いますと、格闘技で試合中に起きる事故のことを「リング禍」というそうです。そこからの発想ではないかということです。

この「禍」とは「わざわい」という意味があるそうです。もう一つ「災」という字がありますが、この2つには明確な違いがあります。「災」は天災など阻止できない災害に使われ、「禍」は、人の手や努力によって阻止できる災害に使われるそうです。

ワクチン接種も徐々に広がっています。一人ひとりの意識や行動でコロナに打ち勝ちましょう。

杉村 明彦



6月定例会で審議された結果



【議案】	件名	審議結果
同意第3号	桂川町監査委員の選任について	【同意】賛成多数
承認第3号	桂川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定（専決）について	【可決】全員賛成
承認第4号	桂川町税条例等の一部を改正する条例の制定（専決）について	【可決】全員賛成
承認第5号	令和2年度桂川町一般会計補正予算（専決第8号）について	【可決】賛成多数
承認第6号	令和2年度桂川町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（専決第1号）について	【可決】全員賛成
承認第7号	令和2年度桂川町土地取得特別会計補正予算（専決第1号）について	【可決】全員賛成
承認第8号	令和2年度桂川町国民健康保険特別会計補正予算（専決第2号）について	【可決】全員賛成
承認第9号	令和2年度桂川町後期高齢者医療特別会計補正予算（専決第1号）について	【可決】全員賛成
承認第10号	令和2年度桂川町水道事業会計補正予算（専決第2号）について	【可決】全員賛成
議案第21号	桂川町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	【可決】賛成多数
議案第22号	令和3年度桂川町一般会計補正予算（第2号）について	【可決】賛成多数
議案第23号	令和3年度桂川町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	【可決】全員賛成
報告第2号	町営住宅建物明け渡し等に係る訴えの提起（専決）について	—
報告第3号	令和2年度桂川町継続費繰越計算書について	—
報告第4号	令和2年度桂川町繰越明許費繰越計算書について	—
【追加議案】		
発議第1号	新型コロナウイルス感染症と闘う医療従事者等に対し敬意と感謝の意を表する決議（案）について	【可決】全員賛成
意見書案第2号	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2022年度政府予算の策定を求める意見書（案）について	【可決】全員賛成

○6月定例会の様子は桂川町HP『議会』で、ご覧になれます。

○9月定例会予定 9月3日～9月22日（一般質問は9月21・22日）